

O's news



2017年5月1日発行

横になると治る不思議な頭痛

～脳脊髄液減少症について～

脊椎・脊髄センター長 山本 慎司

慢性的な頭痛の原因として、首や肩の凝りなどから生じる「筋緊張型頭痛」が非常に多く、その他に脳腫瘍、髄膜炎、脳動脈解離などの脳疾患、片頭痛発作、眼科耳鼻咽喉科疾患など非常にたくさんありますが、「脳脊髄液減少症」と呼ばれる疾患もあります。「脳」は頭蓋骨の中で、「脊髄」は背骨の中で、硬膜やくも膜と呼ばれる膜に覆われ「脳脊髄液」中に浮かんだ状態で存在します。なんらかの原因で硬膜やくも膜に亀裂を生じ、脳脊髄液が漏れ出てしまうことで頭蓋内圧が低下し、頭痛、全身のだるさ、めまい、耳鳴り、視力障害、手足のしびれなどを生じることがあります。以前は低髄液圧症候群とも呼ばれていました。

この病気では、座ったり立ったりして頭を上にあげるとで頭痛が悪化し、寝転ぶと軽くなることが特徴的で、めまい、吐き気、全身のだるさなども寝転ぶと軽くなる傾向があります。このために「うつ病」と間違われることもありましたが、最近はやマスメディアでもよく取り上げられ、徐々に認知されるようになりました。スポーツや交通事故などの外傷の後に出現することもあります。多くの場合は原因不明で、もともと潜在的に硬膜に脆弱な箇所が存在し、くしゃみやいきみなどをきっかけに亀裂が入り漏れてしまうことなどが考えられています。

診断は症状を踏まえ、頭部や脊椎のMRI検査、造影剤や放射線アイソトープを用いた脊髄造影などで行います。治療は入院の上、十分な飲水や点滴を行い、できるだけベッド上で安静臥床を維

持することで脳脊髄液の漏れの自然閉鎖を図ります。それでも症状の改善を認めなければ、漏れの近くに針を進め、自分の血液を注入して癒着閉鎖を促す「硬膜外自己血注入療法(硬膜外ブラッドパッチ療法)」を行います。以前は自費診療でしたが、現在は本院などの認定施設において健康保険の適応で受けることが可能となっています。一般的には背骨の隙間に直接針を刺して自分の血液を注入する方法で行われますが、一度にあまり多くの血液を注入できないために十分な癒着閉鎖が得られず、何度も繰り返して行う必要があります。現在本院では専用のレントゲン室にて局所麻酔で腰から非常に細いカテーテルを安全に挿入し、漏れ口を中心にできるだけ広い範囲に多くの血液を注入する方法で実施しており、一回の治療でほぼ完全な閉鎖が得られ、多くの患者さんに満足していただいています。



漏れ出た脳脊髄液

医療の安全を提供する仕事

臨床工学技士 副主任 池田 紘二

高度な医療機器が医療現場に導入され、国民の健康に貢献していることは周知のことですが、日本医療機能評価機構に報告された医療事故のうち、医療機器に関する事故は2.4%でした。(H25年調査)

この2.4%を少ないと感じてしまうかもしれませんが、命をつなぐ医療機器にトラブルが発生してしまうと、安全な医療を提供できなくなるばかりか、患者様の生命に関わってしまう可能性があります。

現代の医療は、医療機器なしでは成り立ちません。

医療機器が、当たり前のように正常に動作し、安心して使用できるよう日々点検・管理をするのが、私達、臨床工学技士の仕事です。



医局秘書のお仕事

理事長・院長秘書 岡村 真優子
医局秘書 太田 優子

医局秘書は医師が本来果たすべき業務に専念できるようにスケジュール管理、書類作成、事務手続きなどを医師に代わって行います。

現在は理事長秘書1名、医局秘書1名にて理事長はじめ常勤・非常勤あわせて28名の医師を補佐しています。

医局は医師個人のデスクがあり、病棟や外来ではされない学術論文作成や日々の業務、治療方針について真剣に意見を交わす事もございます。また、お食事をとりながら先生同士のコミュニケーションを図るプライベートな場所でもございます。診察や手術中の真剣な表情とは別の顔を見て頂く事が出来るかも知れません。

24時間救急体制を整える脳神経外科専門病院において先生方の近くで高度な医療を目の当たりにする毎日です。医局秘書として果たすべき役割を考え、常に笑顔を絶やさず丁寧な対応を心がけ、先生方にほっとして頂ける雰囲気づくりと各部署との橋渡しとしてお役に立てるように尽力して参りたいと存じます。



他院にも掛っておられる方は、**お薬手帳**や**血液検査データ**、**紹介状**などもご持参ください。

紹介状がある方も**保険証**は必要です。必ずご持参ください。

JR西明石駅～JR大久保駅～山陽電鉄江井ヶ島間で無料送迎バスを運行しています。受診予約はかかりつけの診療所からしていただけます。

詳しくは地域医療連携室まで。駐車料金は1時間毎に100円です。外来患者さまにはサービス券をお渡しします。



5月

\日本の四季暦/

「二十四節気と七十二候」のお話

ガーデンQoo
秋吉 美穂子さつき
皐月光がまぶしく白い光を放つ様子をあらわす「皐」、風薫る五月の別名です。
鯉のぼりが青空に泳ぎ、動植物が生き生きと活動し、過ごしやすい季節です。六節気
穀雨

4/30~5/4(十八候) 牡丹華／ぼたんはなさく

新緑がまぶしいさわやかな季節、ゴールデンウィークは行楽に出かける人たちでにぎわいます。
豪華な牡丹の花、「くれないの光をはなつから草の牡丹の花は花のおほきみ」正岡子規七節気
立夏

5/5~9(十九候) 鼃始鳴／かわずはじめてなく

おたまじゃくしが蛙となって鳴き始める頃です。日本の縄文式土器にも蛙の姿は描かれ、「鳥獣戯画」にも擬人化され登場する蛙は、昔から身近な存在でした。日本の固有種である藤の花、紫色の房状の花もまた古代より愛された季節の花です。



5/10~15(二十候) 蚯蚓出／みみずいずる

畑の土を豊かにしてくれるみみず、もちろんその名前の由来は「目見え」です。
「テッペンカケタカ」と夏を告げる鳥、時鳥、「目に青葉 山ホトトギス 初鯉」。
田植えを終えた田んぼに初夏の風が吹き、心地良い季節です。

5/16~20(二十一候) 竹笋生／たけのこしょうず

春から夏にかけて竹の子は、竹の子ごはんには煮物に天ぷらに楽しめます。その成長の早さは、帽子をかけておくと一晩で、手が届かない高さにまで伸びてしまうとか。世界最古の農作物のひとつ「空豆」。中国の豆板醤は空豆が原料です。空に向かうようにさやがつくので「空豆」、塩ゆでに、さやごと焼いて焼き豆に♪

八節気
小満5/21~25(二十二候) 蚕起食桑／かいこおきてくわをはむ
蚕が活発に桑の葉を食べぐんぐん育ちます。甘酸っぱい赤い実の木苺、バラ科イチゴ属の落葉低木です。ラズベリーとも呼ばれブラックベリーなどと共にジャムやケーキに使われます。

5/26~30(二十三候) 紅花榮／べにばなさかう

あざみに良く似た紅花、紅色の染料として、平安時代には栽培されていました。別名を「末摘花」、先端の花を摘むことからの呼び名です。「源氏物語」光源氏の恋人のひとりとして登場する女性の名前ですね。



今月の花 クレマチス

キンポウゲ科クレマチス属／つる性植物／原産地：世界(主に北半球)
開花期：4~10月／花言葉：「精神の美」「旅人の喜び」

「テッセン」の名で親しまれている紫色のつる性の花クレマチス、世界中で250~300種が北半球に分布しています。冬場は地上部が枯れてしましますが、桜の咲く頃からグングンとつるを伸ばし、初夏の頃、紫や白のかざ車状の花をたくさん咲かせます。この時期に咲くバラとの相性もよく、その咲き方、性質により、非常に多くの系統があります。花芽の付き方で「旧枝咲き」「新枝咲き」「新旧両枝咲き」に大きく分かります。ツル植物の女王とも呼ばれ、ちょっとしたコツを覚えれば、毎年花が楽しめる丈夫な植物です。





Ohnishi Neurological Center

外来担当医表

		月	火	水	木	金
1 診	午 前	大 西	大 西(宏)	久 我	林	児 玉
	午 後	—	大 西(宏)	久 我	林	児 玉
2 診	午 前	高 橋	津 田	角 田	埜 本	担当医
	午 後	高 橋	津 田	角 田	—	担当医
3 診	午 前	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	午 後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5 診	午 前	津 田	金 光	津 田	津 田	古家一
	午 後	津 田	金 光	津 田	津 田	三 好
6 診	午 前	脳血管内治療外来 高橋	佐 藤	脳血管内治療外来 大西(宏)/高橋	富士井	脳血管内治療外来 大西(宏)
	午 後	脊椎・脊髄外来 山 本	脊椎・脊髄外来 山 本	脊椎・脊髄外来 林	脊椎・脊髄外来 山 本	脊椎・脊髄外来 山 本
7 診	午 前	神経内科 立 花	—	—	内科 竈 門(カマド)	神経内科 上 田
	午 後	—	—	—	内科 竈 門(カマド)	<13:00→> 麻酔科 鈴 木

※診察受付時間:月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30

(H29.5)

連携協力医療機関のご紹介(No.126)

かなもり眼科クリニック

院長:金森 章泰

認定・資格:日本眼科学会専門医・日本眼科学会指導医・神戸大学医学博士・日本神経眼科学会評議員・日本神経眼科学会認定神経眼科相談医・緑内障手術トラベクトームインストラクター・A型ボツリヌス療法講習機構 A型ボツリヌス毒素製剤ボトックス講習・実技セミナー修了・視覚障害者用補装具適合判定医・身体障害者福祉法第15条指定医・難病指定医・小児慢性特定疾病指定医

診療科目:一般眼科、緑内障、白内障、神経眼科、小児眼科、各種網膜疾患

住所:明石市大明石町1丁目6-1 パピオスあかし3階

電話:078-911-1146

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:30～12:30)	○	○	○	手術	○	●	/
午後(16:00～19:00)	○	手術	○	○	○	/	/

※土曜日は9時～13時

金森院長からのメッセージ

緑内障、神経眼科専門医として専門的診療を行っています。日帰り白内障手術、緑内障手術に対応しております。



連携協力医療機関のご紹介(No.127)

藤原内科・循環器科

院長:藤原 克昌 医師:藤原 昌平

診療科目:内科、呼吸器内科、循環器内科

住所:神戸市垂水区舞子台8丁目7-5

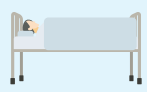
電話:078-782-2121

藤原院長からのメッセージ

万全の設備と技術であなただの治療をサポートします。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00～12:00)	○	○	○	○	○	○	/
午後(17:00～20:00)	○	○	○	/	○	/	/

※木曜診療は藤原 昌平医師/第三土曜日エコー



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:院長 大西 英之 編集責任者:事務次長 瀧原 健司

